

指導方法等の改善計画について(教科調査問題)

(府中東小)学校

※自校において、課題を2つ挙げ、最大の課題に★(教科ごと)をつけてください。

	国語科	算数科
課題 2つまで	<p>【課題】</p> <p>★①2-2「事実と意見を区別して書くことができるかどうかをみる。」ことを出題の趣旨とした記述問題(正答率42.4%)で、その記述の根拠となる本の題名を書いていない児童が50%もいた。条件に応じて問題に答えていくことや、本文を引用しながら説明したり、意見を述べたりするが十分ではない。</p> <p>②3-2(2)「文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。」選択式の問題(正答率62.1%)で、修飾と被修飾との関係を捉えることができず、文の構成を理解することができていない。</p>	<p>【課題】</p> <p>★①2-(3)「円柱の側面にはる長方形の紙の横の長さを示す適切な点を選ぶ」選択式の問題(正答率42.4%)で、円周を求める公式を使って正しい数値を求めることができていない児童が57%いた。円柱の展開図で側面となる長方形の長さ、底面の円周の長さが等しいことへの理解が十分でない。</p> <p>②3-(2)「$1/4L$の図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く」問題(正答率53%)で、分数同士のたし算の計算方法を図で説明する際、もとになる1Lの大きさを図から読み取ることができない児童が40%程度みられた。</p>
課題に対 応した各	<p>1年</p> <p>①説明文を読み、問いと答えを照らし合わせながら読む活動を仕組む。大切な言葉に線を引きながら内容を捉える練習を繰り返し行う。</p> <p>②主語と述語の関係を身に付けさせるように繰り返し学習する。読む、書く、話すの中で、主述の関係を常に意識させる。</p>	<p>1年</p> <p>②大きい数の仕組みについて学習するときに、図を描いて数の大きさがイメージできる児童を育てる。1を10集めて10のまとまりにして見たり、まとまりを解いて1が10このばらにして見たりと、数を多面的に見ることができるようにする。</p>
	<p>2年</p> <p>①説明文を読み、分かったことや考えたことを述べる活動を取り入れ、書いてあること(事実)と自分の考え(意見)を区別して述べる活動を仕組む。</p> <p>②主語と述語の関係をしっかり身に付けさせるよう指導する。日頃から、主語と述語を意識して書いたり、話したりさせる。</p>	<p>2年</p> <p>②乗法の学習において、「一つ分の大きさの幾つ分かに当たる大きさ」を捉えることで計算できることを指導する。また、簡単な分数の学習では、もとの大きさの$1/2$、$1/3$になるということを指導する。具体物を操作しながら乗法・分数の意味を実感できるようにし、日常生活で生かすことができるようにする。</p>
	<p>3年</p> <p>①文章から工夫と例を読み分けることで、どのように例が書かれているかを理解させる。その上で、実際に調べ学習を行い、工夫と例を取り入れた文章を書かせることで、定着を図る。</p> <p>また、レポートを書く際に書籍から引用した文を引用する方法を指導し、他教科領域等でもその方法を使うことで定着できるようにする。</p> <p>②主語と述語だけの文に修飾語を加える練習をすることで、修飾語についての理解を深める。また、朝の会の1分間スピーチの時間に、友達が考えた2~3文から修飾語とそれが係る言葉を見つけ出すクイズを行い、楽しませて継続的に指導する。</p>	<p>3年</p> <p>①円と球の単元で、球の直径の長さの求め方や、箱の中に入っている球の直径の求め方を考えさせたり、三角形と角の単元で、折り紙を使った正三角形の作り方を考えさせたりすることで、既習事項を利用して求めることを楽しむ経験をさせる。</p> <p>また、倍の計算では、「もとにする大きさの何倍か」の求め方を丁寧に指導し、数直線を使って求めることができるようにする。</p> <p>②分数の単元では、「もとを1とする」ことを繰り返し意識させながら指導する。分母よりも分子が大きい分数の学習の時に、「もととした1」がどの部分なのかを考えさせ、「1を○等分した○こ分」で分数を表すことを定着させる。</p>

学年での 指導内容 及び方法	4年 ①リーフレットを作成する際には、相手や目的を意識しながら、自分の調べたことを引用して、相手に分かりやすいようにまとめる学習に取り組む。引用する場合には、出典を明記することを忘れないように指導する。また、学習したことを総合的な学習の時間や各教科で活用し、定着できるようにする。 ②修飾語・被修飾語の関係を十分に理解できるようにする。	4年 ①倍の見方の学習で、「基準量の何倍」という見方を用いて、ある二つの数量の関係と、別の二つの数量の関係を比べる活動を仕組み、基準量が違う時には、基準量を1とみて、倍を使って比べて表すことを定着させる。 ②、もとになる1の大きさを図から読み取ったり、図に書き込んだりする学習をする。分数の計算を図と結びつけながら説明する活動も行っていく。
	5年 ①1学期に学習した引用の仕方を復習する。目的に合った資料を選び、事実と意見を明確にして説得力のある意見文を書かせる活動を行う。また、学習したことを総合的な学習の時間や各教科で活用し、定着できるようにする。 ②「敬語」の学習で、主語を意識して尊敬語・謙譲語を考える。その際、短い文章を扱うので修飾・被修飾について理解を深め、練習させる。	5年 ①様々な大きさの円を黒板上で転がしてどこまで転がるか予想させる等して、円周を直線で表した長さを感じづつかませる。円柱を実際に作り、円周が展開図の長方形の横の長さであることを実感としてとらえさせる。 ②1/2や1/4を数直線や図で表して大きさを比べたり、「1を○等分した○つ分」という言い方を繰り返し、分数の意味を理解させたりする。
	6年 ①自分の選んだ「座右の銘」とそれに結び付く経験について思い出し、事実と感想、意見とを区別して書いたり、字数などの条件に合うように書いたりする学習に取り組む。必要な条件を意識して書いているか、意識して推敲させる。また、学習したことを総合的な学習の時間や各教科で活用し、定着できるようにする。 ②「文の組み立て」の学習で1学期に学んだ内容を復習する際に、文中の修飾・被修飾の関係を確かめる問題に取り組ませ、練習させる。	6年 ①展開図を描くことで、底面と側面の関係を確かめる。 ②「算数の仕上げ」で数の表し方としくみについて学習する際、もとにする数の何個分かに着目して既習の計算に帰着させて繰り返し計算練習を行う。

・中学校は1年～3年、小学校は1年～6年まで記入